

優輝

～学年集会&保護者説明会～

今回の学年通信は、学年集会と保護者説明会の内容を掲載します。難しい内容もあったと思いますので、簡潔に内容を押さえてみましたので、内容の整理にご活用いただければと思います。

保護者説明会に出席できなかったご家庭については、生徒に資料を持たせていますので、詳しい内容はそちらでご覧ください。また、質問などあれば気軽にご相談ください。担任または担当の者で対応させていただきます。(伊丹西高校：072-777-3711)

【進路指導】

卒業生の進路状況・42回生進路希望調査

大学(4年制)進学率における進学率54%に対し、本校(去年卒業生)では65%と進学意識の高い高校といえる。42回生の進路希望調査アンケートの結果では、63%が大学進学を希望している。短大・専門・就職の希望も卒業生のそれとおおよそ同じ割合という結果となった。

大学・短大と専門学校の違い

大学・短大は、幅広い分野から学び教養を高めていくスタイルに比べ、専門学校は特定の職種に関連した取り組み(現場での実習など)を中心としている。職種など将来の目標が限定されている場合、専門学校のそれは強みとなる一方、途中で目標が変わったりすると対応が難しくなる。

進路決定において、まず上記の2点は基本的なポイントとなります。夏休みにはオープンキャンパスや職業人インタビューなど、進路関連の課題もあるので、ぜひご家庭で情報をシェアしながら、進路について考えを深めてください。

また、保護者説明会の資料には、進学にかかる受験料・授業料・奨学金など、経済面からみた基本的な情報も掲載していますので、そちらもご覧置きください。

【類型選択】

進路実現のために、類型選択は極めて重要となるので、夏季三者面談に向けて、必ず各ご家庭で相談しておいてください。

「数学が好きだから・国語が苦手だから・友達がいくから」などの安易な考えで決定することはできません。三者面談・夏休みを経て、2学期には類型確定の予定となっています。(※大まかな予定は保護者会資料でご確認ください。)

先日、生徒対象の科目選択説明会を行いました。しかし、理解しきれていないこともあると思います。分からないことは必ず聞いてほしいと思います。担任の先生はじめ、いろんな先生に相談しましょう。保護者の皆さまにおかれましても、資料だけでは不明なこともあると思いますので、気軽にご相談ください。

また、この学年通信のコメント欄をご活用いただいても構いません。いただいたコメントには返答しますので、学年通信を通して、さまざまな質問・返答をシェアすることができます。ぜひ、ご活用ください。

【伊丹西高校の3つの類型とその特徴。(対応する分野)】

自然科学類型 理系 (分野：工学・建築・土木・理学・薬学・農学・看護など)

週の半分は理系科目の時間割。今やっている数学が理解できているかどうかが目安となる。

総合ヒューマン類型 (分野：看護・保育・福祉など)

総合ヒューマン類型独自科目の授業展開がある。

一般入試からの入学者もヒューマン類型への変更可。(※希望者が多い場合は選考あり。)

人文社会類型 文系 (分野：経済・経営・商学・社会・文学・外国語・芸術・体育など)

選択科目が豊富。個々の進路に応じてカリキュラム編成ができる。

【生徒指導】

全体的には、落ち着いて学校生活を送れています。コロナでの休校から分散登校など、不安が絶えない状況でしたが、ご家庭のサポートのおかげで4 2回生にとって、良好なスタートを切ることができたと思います。ありがとうございました。

学年集会・保護者説明会ともに話した内容は同じで、生活面から以下2点についてお話をさせていただきました。ご確認ください。

登校指導（遅刻指導）について

交通事故防止の観点と、落ち着いた学校生活を送るために、余裕を持って登校することを基本的な指導方針としています。本校では9割の生徒が自転車通学のため、各学年に通学時間を設定し、時差通学に協力してもらっています。それでも校門前の混雑はなかなか改善することができません。さらに、その時間帯には保育園の送迎バスや通勤車も往来するため、保護者の皆さまには、送迎による学校付近での停車を遠慮していただいています。また生徒には、基本的に親に頼らず自分で登校するよう指導しています。遅刻指導については、生活習慣の見直しを目的に早朝登校（3回）を実施しています。ご家庭には負担をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

携帯電話の取り扱いについて

本校での携帯電話の取扱いは、敷地内使用禁止（電源オフ・カバンに入れる）となっています。生徒の学校生活の様子を見ていると、そもそも規範意識がないようには見えません。しかし、1年生の1学期は、毎年携帯電話の指導が数件あります。それは、携帯電話との付き合い方をまだ覚えていないところに原因があるのではないかと考えています。携帯電話については、学校のルールはもちろんありますが、もっと根本的な習慣から見直していくべきことと捉えています。それができなければ、これから家庭学習の習慣もつけていかなければならない中で、大きな弊害となるからです。

ご家庭でも、一度携帯電話の使い方についてお話をする機会を設けていただけたらと思います。もうすでに弊害となっているのならば「〇時～〇時の時間だけ使う。」のように、簡単なルールを設定するなどの工夫をお勧めします。

【学年主任より】

最後に、学年主任から学校生活全般的な話で保護者説明会を締めくくりました。以下、内容を簡単にまとめたものです。

最近、挨拶を返してくれる生徒が増えた。しかし、恥ずかしいのか、中にはまだ挨拶もなかなか目を合わせてくれない生徒もいる。挨拶などを真面目に取り組むことに少し抵抗がある年齢といえればそれまでだが、挨拶はできるようになって欲しい。挨拶だけに限らず、何事も真面目に取り組んでいる人が、損をしたり恥ずかしい思いをしたりしない雰囲気をつくっていききたい。

先日の学年集会で、生徒に「無理」という言葉を使わないようにしないかという話をしました。「先生、こんなん無理。」「無理無理。絶対できへん。」こんな声が学校生活のなかで、よく聞こえてくる。ご家庭でもありませんか。何でもチャレンジしていく姿勢を持ってほしい。やる前から諦めてほしくない。「やってみただけ無理でした。」これなら、「じゃあ、次どうしようか。」というように、反省を生かし前に進むことができる。言霊は具現化する力を持っています。「無理」という言葉が口癖にならないように、日常から気を付けてみてください。

成績ファイルについて。成績を管理するファイルを購入しました。通知表・成績個票（定期考査の点数・偏差値・順位）・模試の結果などを管理し、振り返りがしやすいようにファイルにまとめていきます。学習に関するデータは、そのファイルに全てあるので、保護者の方々も目を通してください。

最後に、保護者の皆さまは、とにかくお子様とたくさん話をしてください。情報を共有するためには、学校からの情報発信はもちろん、ご家庭での会話が大切です。学校・保護者・生徒がタッグを組んで、進路実現はじめ、3年間有意義に過ごせるように、今後ともご理解ご協力よろしく願いいたします。

※今回掲載予定だった学年集会の写真ですが、撮れなかったので掲載できませんでした。お詫び申し上げます。

【コメント記入欄】
